



新しい学びを支える効果的なICT活用の方法や技術を学び、 学校教育の未来を考える。

プログラミング教育や情報モラル教育を含む子どもたちの情報活用能力の育成や、ICTを活用した効果的・効率的な教科指導等ができる力を持ち、学校の情報化の推進を先導できる小・中学校の教員の養成を目指します。情報や情報技術、教え方や学び方、教科内容に関する知識・技能を結び付けることができる力を育てます。



プログラミングの課題に取り組む



小学校でプログラミングの授業を実践する



身近なインターフェースについて議論する

4年間の学び

ICT活用支援専修では、4年間を通して主にICTを活用した授業の実践、情報活用能力や情報モラルを育成するための授業の実践、学校全体の情報化への対応、情報科学の基礎から応用、共通教科情報および専門教科情報を指導するための教科指導法、教育におけるICTの活用を学びます。まず、基礎的な技術を学び、学年進行に合わせて活用的・応用的科目が増えていきます。3年次からは卒論に向けて自分が属する研究室で研究が始まります。そして4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。ICT活用支援専修では、プログラミングの授業やタブレット端末を活用した模擬授業などICT機器を活用した授業が多くあります。

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】

小学校教諭一種免許状

【取得を優先して薦める免許状】

中学校教諭二種免許状^(※)
◎特別支援学校教諭二種免許状

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】

中学校教諭一種免許状(中学校二種の教科)
◎高等学校教諭一種免許状(情報)
◎幼稚園教諭二種免許状

※ 入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。

できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 ICT活用支援専修4年
沖縄県立那覇国際高等学校出身



プログラミングからモラルまで 幅広い知識を結び付け、 ICTの効果的な活用につなげたい。

印象的だったのは、ユーザインタフェース(UI)デザインの講義です。架空のアプリ画面を設計しながら、電気スイッチやアプリのアイコンなど、身近なUIを再評価する中で、実際に利用するユーザー視点が大切だと再認識しました。教師のICT活用能力はますます重要になっていますし、これまでできなかった新しい学びが実現するのも事実。でも、単に活用するだけでは不十分だと感じています。大学での学びを生かし、アナログ教材とも組み合わせながら、学びの効果を高める授業を実践していくことが目標です。

■ 2023年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等生活科 教育内容A	集合と論理	初等算数科 教育法B	初等音楽科 教育内容A	
2時限	初等社会科 教育内容A		初等図画工作科 教育法A	教育システム論	ドイツ語Ⅱ
3時限	プログラミング		この時間を使って 「学校体験活動Ⅰ」 の事前指導や ガイダンスを行う ことがあります。		情報デザイン
4時限		データ サイエンス基礎		初等整数論	
5時限					

実習:学校体験活動入門

集中:発達障害のある児童生徒理解基礎

集中:外国人児童生徒支援教育